

第3回令和6年能登半島地震災害福井県支援本部会議

日時：令和6年3月25日（月）
15時30分～
場所：県庁10階 防災センター

次 第

1 開会

2 議題

(1) 能登半島地震の支援について

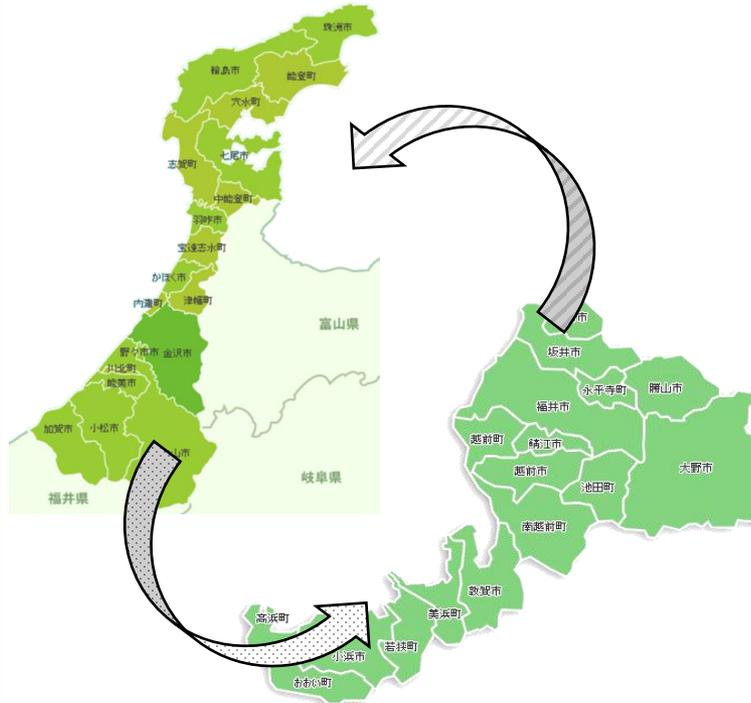
(2) その他

令和6年能登半島地震に伴う福井県の支援状況

(令和6年3月22日現在)

石川県からの受入れ

旅館・ホテル受入れ	16施設267人
福井市、大野市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、越前町、美浜町で2次避難者受入(3/22時点滞在人数:82人)	
公営住宅受入れ	12人
福井市	: 5人
敦賀市	: 3人
小浜市	: 2人
坂井市	: 2人
みなし仮設住宅受入れ	5人
敦賀市	: 5人
患者の受入れ	17病院 55人
施設入所者等の受入れ	21施設 56人
児童生徒受入れ	7人
福井市	: 3人
敦賀市	: 2人
大野市	: 1人
越前市	: 1人



福井県からの支援

行政機関等の応援活動状況	7,457人日
消防・警察の活動状況	2,438人日

石川県への物資支援

水	12,816本
非常食	14,300食
ブルーシート	1,000枚

珠洲市への物資支援

簡易トイレ	100基
オムツ	1,104枚
生理用品	6,020枚
手指消毒薬	2,120本
防犯ブザー	200個
水	9,678本
非常食等	30,612食
マスク	6,730枚
	等

珠洲市総合病院への支援

水	2,256本
非常食等	13,910食

給水車 延164台・ゴミ収集車 延128台派遣



石川県輪島市の病院から患者30名を福井空港に搬送し、県内病院で受け入れ

LINE避難者情報システムの活用

珠洲市で活用開始(1月7日～)登録者計 3,685人
石川県内全域で活用開始(1月19日～)登録者計 12,930件

ふるさと納税による寄付

寄付受付	462件	7,036,000円
福井県	264件	3,206,500円
あわら市	48件	522,500円
石川県	117件	2,968,000円
富山県	33件	339,000円



発災初期に緊急的に病院食をチヌークで珠洲市に搬送

●石川県全域における福井県関係職員の派遣状況

石川県全域

行政機関等派遣活動状況 (R6.3.22 13:00現在)

合計：65名(延べ2,249名)
6,776人日(県:2634人日市町:1,932人日その他:2,210人日)

消防関係派遣活動状況 (R6.3.22 13:00現在)

合計：0名(延べ289名)(957人日)

警察関係派遣活動状況 (R6.3.22 13:00現在)

合計：15名(延べ214名)(1,481人日)

ボランティア活動状況 (R6.3.22 13:00現在)

合計：19名(延べ681名)(681人日)

派遣活動状況 (R6.3.22 13:00現在)

合計：99名(延べ3,433名)(9,895人日)



- 珠洲市 62名(1,396名)**
- ・総務省応援派遣 2名(県職員) 1/3~(39名)
 - ・避難所運営支援等 14名(県職員) (596名) 8名(市町職員)
 - ・土木班 3名(県職員) 3/17~(6名)
 - ・家屋調査 8名(県職員4名、市町職員4名) 2/25~(54名)
 - ・保健師等チーム 4名(県職員2名、市町職員2名) 1/4~(72名)
 - ・浄化槽の調査(県浄化槽協会) 0名(11名) 2/20~2/22 2/26~2/28 3/6~3/8 3/13~3/15
 - ・応急仮設住宅の調整 0名(県職員) (4名) 2/20~2/21
 - ・災害ボランティア 19名(県職員0名(4名)、福井市職員0名(1名) ボランティア19名(559名)) (564名) 2/26~
 - ・日本赤十字社福井県支部 救護班等 4名(50名) 1/9~2/13 2/27~3/1 3/18~

- 中能登町 2名(61名)**
- ・下水道管渠被害調査 2名(61名) 1/8~2名(市町職員)

- 金沢市 3名(227名)**
- ・県介護支援専門員協会派遣 0名(80名) 1/15~2/29
 - ・県薬剤師会避難所派遣 1名(104名) 1/20~
 - ・2次避難先派遣(医王山スポーツセンター) 教職員0名(9名) 1/26~1/30 2/3~2/7 2/7~2/11 2/11~2/15 2/19~2/23 2/23~3/2
 - ・県看護協会災害支援ナース(1.5次避難所) 0名(18名)
 - ・石川県庁派遣 被災家畜農家の被害状況調査等 0名(県職員) (1名) 2/6~2/29
 - ・日本赤十字社福井県支部 本部要員 0名(1名) 2/8~2/14
 - ・日本赤十字社福井県支部 救護班等 1名(1名)
 - ・介護職員 1名(13名) 3/21~

- 能登町 4名(17名)**
- ・県土地改良事業団体連合会(集落排水施設2次調査) 0名(2名) 2/19~3/15
 - ・老人福祉施設協議会DWAT派遣 4名(15名) 3/17~

- 警察 15名(214名)**
- ・救助部隊 0名(61名) 1/1~2/25
 - ・交通部隊 9名(46名) 1/2~3/25 9名 3/18~3/25
 - ・航空隊 0名(15名) 1/2~1/22
 - ・避難所警戒 0名(17名) 1/4~3/21
 - ・自動車警ら 6名(46名) 1/4~4/2 6名 3/22~4/2
 - ・機動捜査 0名(16名) 1/20~3/11
 - ・通信部隊 0名(13名) 1/4~3/1

- 輪島市 1名(57名)**
- ・県知的障害者福祉協会介護職員派遣 1名(22名) 2/4~
 - ・浄化槽の調査 0名(3名) 2/26~2/28
 - ・介護職員 0名(32名)

- かほく市 1名(1名)**
- ・介護職員 1名(1名) 3/22~

- 七尾市 8名(455名)**
- ・給水車 2台(36台) 4名(146名) 2名(大野市) 3/20~ 2名(越前町) 3/22~ ※1/14~各市町職員を派遣

- ・上水道応急復旧工事 0名(38名) 2/5~ 0名(市町職員0名、工事業者0名)

- ・廃棄物受入 4名(越前市職員) (147名) 1/11~

- ・災害ボランティア 0名(県職員0名(2名)、ボランティア0名(122名)) (124名) 2/11~2/15

- 加賀市 0名(1名)**
- ・介護職員 0名(1名) 3/14~3/15

- 金沢市以南 3名(53名)**
- ・県医師会JMAT 3名(53名) 2/10~

- 【過去実績(延べ人数)】**
- ・石川県庁リエゾン(20名)
 - ・物資供給 全域(69名)
 - ・県歯科医師会避難所派遣 能登町(5名) 珠洲市(10名)
 - ・県薬剤師会避難所派遣 穴水町(26名)
 - ・県医師会JMAT 穴水町(11名) 金沢市(4名) 加賀市(24名)
 - ・漁港施設被害調査 穴水町(2名) 輪島市(1名)
 - ・県臨床検査技師会避難所派遣 穴水町(6名) 輪島市(6名)
 - ・DPAT派遣 七尾市(13名) 金沢市(3名)
 - ・日本赤十字社福井県支部 救護班 七尾市(10名)
 - ・日本赤十字社福井県支部コーディネートチーム 金沢市(5名)
 - ・下水道管渠被害調査 小松市(6名) 津幡町(10名)
 - ・給水コンテナ設置 羽咋市(6名) 中能登町(8名)
 - ・県栄養士会JDA-DAT 七尾市・珠洲市(3名)
 - ・建築物応急危険度判定 穴水町、七尾市、志賀町(28名)
 - ・給水車 志賀町(7名) 中能登町(27名)
 - ・保健師 志賀町(2名)
 - ・老人福祉施設協議会DWAT派遣 金沢市(10名) 珠洲市(2名) 輪島市(11名) 白山市(3名)
 - ・福井JRAT 金沢市(20名)
 - ・災害ボランティア 珠洲市(68名) 輪島市(11名) 白山市(34名)
 - ・DWAT派遣 金沢市(15名) 輪島市(12名)
 - ・県知的障害者福祉協会介護職員派遣 能登町(2名)
 - ・県土地改良事業団体連合会派遣 能登町(2名) 志賀町(2名)
 - ・公共土木施設応急復旧 珠洲市(18名)
 - ・県看護協会災害支援ナース 輪島市(22名)
 - ・被害宅地危険度判定 内灘町(3名) 羽咋市(3名)
 - ・DMAT派遣 全域(103名)
 - ・広域消防応援隊 珠洲市(81名)
 - ・緊急消防援助隊 珠洲市(208名)
 - ・看護職員派遣 金沢市(2名)
 - ・教員派遣 白山市(18名)

●珠洲市における応援職員の派遣状況

珠洲市(全域)

行政機関等派遣活動状況 (R6.3.22 13:00現在)

合計：193名
 (内訳) 福井県関係 43名 (延べ969名)
 他県関係 150名

消防関係派遣活動状況 (R6.3.22 13:00現在)

合計：0名 (延べ289名)

ボランティア活動状況 (R6.3.22 13:00現在)

合計：19名 (延べ559名)(559人日)

市内全域 134名 (808名)

【福井県】 ・保健師等チーム 4名 (72名) ・応急仮設住宅の調整 0名 (4名) ・浄化槽の調査 0名 (11名) ・家屋調査 8名 (54名) ・災害ボランティア 19名(県職員0名(4名)、福井市職員0名(1名)ボランティア19名(559名)) (564名) 2/26~	【神戸市】 ・避難所運営支援 6名 ・広報支援 4名
【石川県】 ・リエゾン派遣 2名 ・避難所運営支援 0名 ・広域避難支援 5名 ・家屋調査 4名	【山梨県】 ・総務省応援派遣 6名
【浜松市】 ・物資管理 4名 ・保健活動(保健師等) 3名 ・建物被害調査 2名 ・上下水道復旧 7名	【熊本市】 ・避難所運営支援 0名 ・建物被害調査 0名 ・家屋調査 0名
【兵庫県】 ・避難所運営支援 6名 ・廃棄物処理 2名 ・建物被害調査 7名	【野々市市】 ・物資管理 0名
【長崎県】 ・建物被害調査 16名	【千葉県】 ・建物被害調査 2名
	【名古屋市】 ・上下水道復旧 18名
	【静岡県】 ・上下水道復旧 3名
	【仙台市】 ・上下水道復旧 6名
	【千葉県】 ・建物被害調査 0名

大谷、日置、三崎地区 11名【千葉県】
 ・避難所運営支援 11名



大谷、日置、三崎地区以外の地区 13名 (439名)【福井県】
 ・避難所運営支援 9名 (389名)
 ・日本赤十字社福井県支部 救護班等 4名 (50名) 3/18~

市内全域 避難所巡回チーム 6名

【福井県】 1名(59名)	【兵庫県】 2名	【神戸市】 0名
【浜松市】 0名	【熊本市】 0名	【北海道】 0名
【千葉県】 2名	【石川県】 1名	

珠洲市役所 48名 (224名)

【福井県】
 ・総務省応援派遣 2名 (39名)
 ・本部支援、情報収集 6名 (132名)
 ・罹災証明書発行受付 0名 (4名)
 ・土木班 3名 (6名)
 ・引継準備班 6名 (12名)

【浜松市】
 ・総括支援 2名
 ・避難所運営支援 4名

【千葉県】
 ・罹災証明受付・交付 15名

【石川県】
 ・リエゾン派遣 2名

【熊本市】
 ・総括支援 3名

【愛媛県】
 ・危機管理業務支援 3名

【松江市】
 ・罹災証明受付 2名

【過去実績 (延べ人数)】
 <福井県>
 ・建築物応急危険度判定 (34名)
 ・緊急消防援助隊 (208名)
 ・災害ボランティア (68名)
 ・老人福祉施設協議会DWAT (2名)
 ・公共土木施設応急復旧 (18名)
 ・県歯科医師会避難所派遣 (10名)
 ・広域消防応援隊 (81名)

<他県>
 ・建築物応急危険度判定
 ・建物被害調査
 ・公共土木施設応急復旧

●珠洲市中心部における福井県関係職員の派遣状況

珠洲市(中心部)

行政機関等派遣活動状況 (R6.3.22 13:00現在)

合計：43名 (延べ969名)
 3,615人日 (県：2,325人日 市町：951日 その他：339人日)

消防関係派遣活動状況 (R6.3.22 13:00現在)

合計：0名 (延べ289名)

ボランティア活動状況 (R6.3.22 13:00現在)

合計：19名 (延べ559名) (559人日)

避難所 (若山小学校) 1名 (51名)
 ・避難所運営支援
 1名 (県職員1名、市町職員0名) 1/4 ~

避難所 (飯田小学校) 1名 (51名)
 ・避難所運営支援
 1名 (県職員1名、市町職員0名) 1/4 ~

珠洲市役所 18名 (252名)
 ・本部支援、特命班
 6名 (県職員5名、市町職員1名) 1/4 ~ (132名)

・避難所調査
 1名 (県職員1名、市町職員0名) 1/12 ~ (59名)

・総務省応援派遣
 2名 (県職員) 1/3 ~ (39名)

・罹災証明書発行受付
 0名 (県職員) 1/12 ~ 1/20 (4名)

・土木班
 3名 (県職員) 3/17 ~ (6名)

・引継準備班
 6名 (県職員5名、市町職員1名) 3/17 ~ (12名)

珠洲市全域 4名 (50名)
 ・日本赤十字社福井県支部 救護班等
 4名 (50名) 3/18 ~

避難所 (飯田公民館) 0名 (11名)
 ・避難所運営支援
 0名 (県職員0名) 1/30 ~ 3/16

珠洲市全域 27名 (633名)
 ・浄化槽の調査 (県浄化槽協会) 0名 (11名)
 2/20 ~ 2/22 2/26 ~ 2/28 3/6 ~ 3/8 3/13 ~ 3/15
 ・応急仮設住宅の調整 0名 (県職員)
 2/15 ~ 2/16、2/20 ~ 2/21 (4名)
 ・家屋調査
 8名 (県職員4名、市町職員4名) 2/25 ~ (54名)
 ・災害ボランティア
 19名 (県職員0名(4名)、福井市職員0名(1名))
 ボランティア19名(559名)
 (564名) 2/26 ~

避難所 (旧飯塚保育所) 0名 (7名)
 ・避難所運営支援
 0名 (県職員0名) 1/30 ~ 2/24

避難所 (直小学校) 1名 (26名)
 ・避難所運営支援
 1名 (県職員0名、市町職員1名) 1/26 ~

避難所 (正院小学校) 1名 (51名)
 ・避難所運営支援
 1名 (県職員0名、市町職員1名) 1/4 ~

避難所 (蛸島小学校) 1名 (44名)
 ・避難所運営支援
 1名 (県職員0名、市町職員1名) 1/4 ~

避難所 (緑丘中学校) 1名 (43名)
 ・避難所運営支援
 1名 (県職員0名、市町職員1名) 1/4 ~

避難所 (生涯学習センター) 1名 (39名)
 ・避難所運営支援
 1名 (県職員0名、市町職員1名) 1/20 ~

珠洲市保健医療福祉調整本部 (珠洲サポート部会) (健康増進センター) 4名 (72名)
 ・保健師等チーム派遣
 4名 (県職員2名、市町職員2名) (72名) 1/4 ~

避難所 (宝立小中学校) 2名 (44名)
 ・避難所運営支援
 2名 (県職員1名、市町職員1名) 1/4 ~ 1/12、1/24 ~

【過去実績 (延べ人数)】
 ・避難所 (派遣終了) 運営支援 (22名)
 ・建築物応急危険度判定 (34名)
 ・災害ボランティア (68名)
 ・緊急消防援助隊福井県隊 (208名)
 ・老人福祉施設協議会DWAT (2名)
 ・公共土木施設応急復旧 (18名)
 ・歯科医師会避難所派遣 (10名)
 ・広域消防応援隊 (81名)

避難所運営の支援について

3/23 14:00時点

■避難所・避難者の状況

避難所数（ピーク時）： 94箇所
避難者数（ピーク時）： 7,122人

避難所数（現在）： 40箇所
避難者数（現在）： 1,069人

- ・発災直後（1月4日）から職員を派遣し、一部避難所には職員が常駐して支援 ⇒ 4月からは全避難所が自主運営へ移行
- ・各避難所において自主運営組織が確立し、生活必需品供給等が徐々に安定

- ・トイレ清掃等を珠洲市が外部委託
- ・避難所相談窓口を新設（珠洲市が運営）

■福井県が実施してきた避難所運営支援のポイント

○珠洲市と協力し、自立を促しながら運営支援

- ・持続的運営を念頭に、住民をサポートする形で支援（常駐職員数は段階的に縮小）
- ・4月から円滑に運営されるよう珠洲市への引継を準備（物品リストや運営手引きの作成）

○状況の進展を見据えて、必要な支援を事前に提案・手配

- ・し尿処理方法を念頭に置いた仮設トイレの確保
- ・避難者の管理や避難者への情報発信に、福井県で開発したLINEシステムを活用

○女性視点により、避難所の環境を改善

- ・ニーズに応じて各避難所にパーテーション、更衣用プライベートテント等を設置
- ・防犯ブザーの配布、「職員巡回中」ポスターの貼付等により、犯罪を未然防止

○巡回訪問により、被災者のニーズ等を把握しきめ細かくケア

- ・自主運営の避難所や自宅避難者を含め、ライフラインの状況やニーズを巡回調査
- ・声を上げられない被災者のニーズをくみ取り、災害関連死を防止



珠洲市の被害の状況

○石川県災害対策本部からの情報（3月19日16時30分 石川県災害対策本部資料(抜粋)）※被害の状況等は、3/22の石川県公表資料等により更新

1 被害の状況（3/22 14:00 時点）

人的被害(人)					住家被害(棟)						非住家被害(棟)	
死者 ※うち災害関連死	行方 不明者	負傷者		小計	全壊	半壊	一部 破損	床上 浸水	床下 浸水	小計	公共 建物	その他
		重傷	軽傷									
103 ※6		47	202	352	2,765	2,260	3,557			8,582		3,913

※災害関連死：震災による死者数以外で、震災後に災害による負傷の悪化または身体的負担による疾病のため死亡したと思われる死者数(市町が判断したもの)

※3月22日14時時点の安否不明者0人（1/17時点4人）

2 珠洲市の避難所開設状況（3/23 14:00 時点）

- ・開設数：40か所 避難者数：1,069人（1/17時点 57か所 2,882人）
 ※最大避難者数（石川県公表値）：1/6 8:00 時点 7,122人
 ※1/28～ペットと入れる避難所が開設（飯田公民館）

3 電力関係（契約件数）

- ・停電解消（北陸電力 HP 3/22 9:30 時点）（1/17時点 約2,400戸で停電）

4 断水状況

- ・約4,400戸で断水（1/17時点 約4,800戸）
- ・一部地域で仮復旧済。一部地域は4月以降となる見込み。
- ・給水対応 給水車や給水袋の配布による給水活動を実施中

5 災害廃棄物

- ・環境省の災害廃棄物処理支援員制度（人材バンク）に基づく応援職員（長野市）の派遣
- ・奥能登クリーンセンター（焼却施設）：3月18日復旧
- ・2/1～鉢ヶ崎海水浴場駐車場に集積場を設置、2/17～狼煙漁港内に集積場を設置、3/14～飯田港に集積場を設置
- ・福井県内業者が災害廃棄物を一部受入れ（2月27日～）

6 生活ごみ等の処理

- ・し尿処理のため、石川県内事業者のバキュームカーを派遣（1月3日～）
- ・避難所ごみの回収支援のため、福井県、名古屋市、石川県内市町、石川県内事業者のコンテナ車を珠洲市へ派遣（1月5日～）

7 商工関係

- ・珠洲商工会議所管内の事業者の緊急相談窓口は石川県商工労働部で対応
- ・燃料の供給については、石川県との協定に基づき、石川県石油商業組合が対応

8 港湾関係

- ・飯田港：防波堤損傷、岸壁・物揚場損傷、背後用地に陥没、臨港道路ひび割れ・陥没
埠頭用地内に、仮設道路を設置（1/9 設置完了）
2/27 から漁船だまりの啓開作業（沈船の引き上げ等）を開始
- ・漁 港：防波堤、岸壁、物揚場、臨港道路損傷 7（県管理2、市管理5）
- ・漁 船：転覆、沈没 100隻

9 住宅関係

- ・応急仮設住宅
着工戸数：899戸 完成戸数：186戸完成

10 学校関係（市内の学校数：小学校9、中学校4、高校1）

- ・県内の全小中高14校とも再開済

4月以降の石川県への支援内容

No.	項目	内容	担当部局
1	応援職員派遣	被災者生活再建支援業務などのため、県内市町から中長期的に職員を8名派遣（うち珠洲市2名）	総務部
2		農業・水産関係施設の復旧のため、石川県へ中長期的に県職員を2名派遣	農林水産部
3		道路・河川関係施設の復旧のため、珠洲市へ中長期的に土木職員を3名派遣	土木部
4		復興事業に係る埋蔵文化財試掘調査・調整のため、石川県へ中長期的に県職員を1名派遣	教育庁
5		厚労省からの要請に基づき、県内自治体の保健師の派遣を継続	健康福祉部
6		厚労省や各種団体の要請に基づき、医療機関や福祉施設等への県内事業所職員の派遣を継続	健康福祉部
7	避難者受入	宿泊施設や公営住宅での2次避難者の受入れを継続	交流文化部 土木部
8		宿泊施設（2次避難）や民間賃貸住宅（みなし仮設）に避難されている方への相談窓口設置を継続	交流文化部
9		県・市町の保健師による石川県からの2次避難者の健康管理を継続	健康福祉部
10		医療機関や福祉施設等での患者・入所者受入を継続	健康福祉部
11	災害ボランティア派遣	災害ボランティア派遣を継続（20人/日）	未来創造部
12	災害廃棄物処理	福井県内事業者において石川県の災害廃棄物の受入れを継続	エネルギー環境部
13	支援金	ふるさと納税による寄附の受付を継続	交流文化部

令和6年能登半島地震に伴う福井県内の被害状況

(令和6年3月22日現在)

福井市 (297百万円)

人的被害 2名(軽傷)
住家被害 72棟(一部損壊 72棟)

農林水産業関連施設	214百万円
園芸用ハウス損壊	23棟
農地の亀裂等	4箇所
農業用施設の損壊	13箇所 等
土木施設	7百万円
市道亀裂・法面崩壊	5箇所
その他施設	76百万円
県施設破損	2施設
市施設破損	16施設
(庁舎、美術館、交流施設など)	
水道施設空気弁破損	1箇所

あわら市 (1,830百万円)

人的被害 3名(軽傷)
住家被害 461棟(半壊 12棟、一部損壊 449棟)

農林水産業関連施設	210百万円
園芸用ハウス損壊	4棟
農地の崩壊等	5箇所
農業用施設の損壊	12箇所 等
土木施設	1,026百万円
県管理：国道305号の舗装損傷等	12箇所
北潟湖の河川施設損傷等	13箇所
市管理：市道崩壊・公園地盤沈下	11箇所
上下水道施設	340百万円
上下水道(修繕、敷設替え)	14箇所
その他施設	254百万円
市施設破損	8施設
(小学校、グラウンド、こども園など)	



鯖江市

住家被害 4棟(一部損壊 4棟)

越前市

住家被害 3棟(一部損壊 3棟)

大野市 (9百万円)

農林水産業関連施設	2百万円
農道 舗装破損	1箇所
その他施設	7百万円
市施設破損	3施設
(大野城、体育館、診療所)	

坂井市 (214百万円)

住家被害 74棟(一部損壊 69棟)

農林水産業関連施設	78百万円
園芸用ハウス損壊	1棟
農地の亀裂等	6箇所
農業用施設の損壊	19箇所 等
土木施設	129百万円
県管理：国道305号の道路陥没等	3箇所
その他施設	7百万円
市施設破損	15施設
(公園、体育館、文化財など)	

越前町

人的被害 1名(軽傷)
住家被害 3棟(一部損壊 3棟)

永平寺町 (4百万円)

住家被害 8棟(一部損壊 8棟)

その他施設	4百万円
町営施設天井パネル落下など	2箇所
(体育館、文化会館)	

人的被害 6名(軽傷6名)
住家被害 625棟(半壊12棟、一部損壊 613棟)
県内の被害額…約46億円

県内企業・宿泊施設 (2,259百万円)

県内企業被害額	916百万円
壁・床の亀裂、在庫品破損等の物的被害	126社
県内宿泊施設被害額	1,343百万円
県内146宿泊施設での予約キャンセル	12,708件
(令和6年1~3月)	

4月以降の県内向け支援内容

No.	項目	内容	担当部局
1	被災者支援	県独自の住宅再建支援制度（被災者住宅再建支援事業）により支援を継続	土木部
2		緊急被災者支援金の受付を継続	健康福祉部
3	農業者支援	各種融資制度（農業経営支援資金、農業緊急資金の無利子貸付）による資金繰り支援を継続	農林水産部
4	企業支援	各種融資制度（中小企業支援緊急貸付事業、小規模事業者向け資金緊急利子補給事業）による資金繰り支援を継続	産業労働部
5		施設や設備の復旧支援（なりわい再建支援補助金）の募集を継続	産業労働部
6	消費喚起	地震により来訪者減少などの影響を受けた商店街等の支援（被災商店街等復興にぎわい創出事業補助金）を継続	産業労働部
7		プレミアム商品券「ふく+（ふくたす）」の利用期限（4/30）までの利用を呼びかけ	産業労働部
8	観光支援	北陸応援割の追加支援や制度運用の改善を国に要望予定	交流文化部
9	支援金	ふるさと納税による寄附の受付を継続	交流文化部
10		義援金の受付（日赤福井県支部・福井県共同募金会）を継続	会計局
11	公共施設等復旧	道路・河川・港湾や農地・農業用施設を早期に復旧	農林水産部 土木部

令和6年能登半島地震災害検証タスクフォースについて

1 目的

能登半島地震における本県の災害支援をふりかえり、実績や被災地における気づき・課題を整理・検証するとともに、検証等の結果を踏まえ、本県発災時における危機管理体制の課題と改善策の検討につなげるため、タスクフォースを編成する。

2 メンバー

39名 リーダー：危機管理監、リーダー補佐：防災安全部副部長、防災安全部副部長（防災）、総務部、未来創造部、防災安全部、交流文化部、エネルギー環境部、健康福祉部、産業労働部、農林水産部、土木部、教育庁

3 設置日

設置日：令和6年3月15日（金）

4 見込まれる具体的成果

- ・県内での発災時における危機管理対応の検証・改善
（国土強靱化計画、地域防災計画、災害時受援・応援計画への反映、災害時応援協定の締結 等）